

## 第6回東京都市圏パーソントリップ調査の集計結果概要について ～総移動回数が調査開始以来、初めて減少～

本市も参画する「東京都市圏交通計画協議会」にて、平成30年9月から11月にかけて「人の動き」を調査する「第6回東京都市圏パーソントリップ調査」を実施し、この度、調査データの集計結果の概要がまとまりましたので、お知らせします。

### 1 調査の目的

「どのような人が」、「どの時間帯に」、「どのような目的で」、「どのような交通手段で」、「どこからどこへ」移動したか等、人の平日1日の動きを調べることにより、鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量等を求め、将来のまちづくりや交通計画等を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

### 2 集計結果概要

今回の調査結果の特徴は以下の7点です。

- ア 総移動回数（総トリップ数）が調査開始以来、初めて減少に転じ、前回平成20年から約13%減少
  - イ 外出率と1人1日当たりのトリップ数は、調査開始以来で最低
  - ウ 外出率はすべての年齢階層で減少、自営業や専業主婦等で大きく減少
  - エ 1人1日当たりのトリップ数は、業務目的と私事目的で減少、通勤目的で増加
  - オ 代表交通手段分担率は、東京区部及びその周辺では鉄道が増加、郊外部では自動車の割合が高くかつ増加
  - カ 時間帯別トリップ数は、朝ピーク時は横ばい、昼間以降は減少
  - キ 移動時間30分未満のトリップ数は減少、30分以上のトリップ数はほぼ横ばい
- ※詳細については、別添の国土交通省記者発表資料をご覧ください。

### 3 調査主体（同時発表）

国土交通省、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、千葉市、川崎市、さいたま市、相模原市

#### <参考>

- 1 東京都市圏交通計画協議会について（協議会ホームページ <https://www.tokyo-pt.jp/>）  
東京都市圏内の都県・政令市及び関係機関が相互に協力・調整し、東京都市圏における総合的な都市交通計画の推進に資することを目的として発足した組織です。
- 2 東京都市圏パーソントリップ調査について  
人の平日1日の動きを調べるため10年に1度行う大規模な調査であり、第1回調査は1968年（昭和43年）に実施し、今回の第6回調査で50年目となりました。